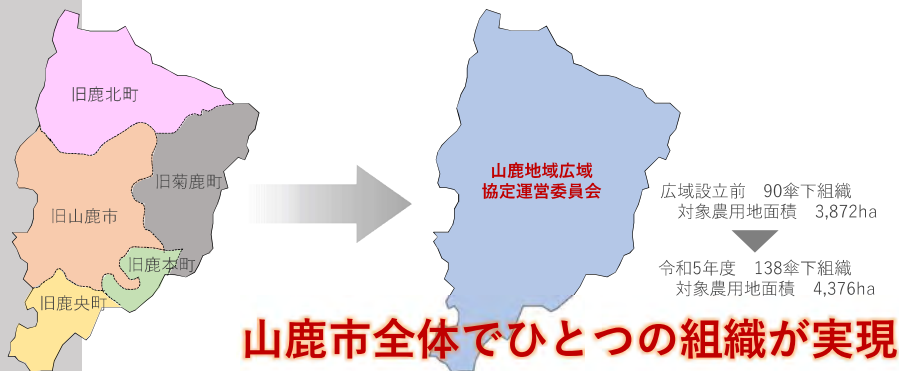


- ◆ **行政主導**のもと、代表者会議や地域説明会を行う中で、広域化のメリットを疑問視する意見やお金（交付金）を自由に扱えない不便さなどへ不満を表す活動組織もあり難航。
- ◆ 特に以下の3つの重点項目を柱に推進。

①事務局体制の強化 ②長寿命化事業の推進 ③金銭管理の徹底

こうして、総合的・長期的な観点から山鹿市の多面的機能支払事業の推進を図るため、約2年間かけて**平成26年9月に設立**。



山鹿市多面的機能事業支援センターの開設

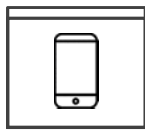


センター内の様子

山鹿地区							鹿北地区			菊鹿地区			鹿本地区			鹿央地区		
米田校区	川辺校区	八幡校区	平小城校区	三岳校区	三玉校区	大道校区	広見校区	岩野校区	岳間校区	内田校区	六郷校区	城北校区	来民校区	稲田校区	中富校区	千田校区	米野岳校区	山内校区
↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓
5 活動組織	1 活動組織	5 活動組織	9 活動組織	5 活動組織	10 活動組織	7 活動組織	8 活動組織	10 活動組織	8 活動組織	8 活動組織	11 活動組織	7 活動組織	4 活動組織	6 活動組織	9 活動組織	12 活動組織	7 活動組織	6 活動組織
山鹿担当							鹿北担当			菊鹿担当			鹿本担当			鹿央担当		

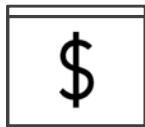
旧市町毎の担当5名＋長寿命化工事担当1名の計6名で事務処理を実施。

01



- ◆ 事務局から傘下の組織に対して「給油カード」と「資材店のカード」を貸与し、それを使用することで**一括管理**している。なお、カードを使用する際は必ず購入する内容を事務局へ連絡することを徹底。

02



- ◆ 日当・立替え払いに対する支出の際は、請求された金額を事務局と活動組織の双方で確認し、**交付金を一括管理する事務局**から各活動組織へ実績に応じて支払う（年3回／8月・12月・3月）。

03



- ◆ 活動組織が行う事務は、年度当初に活動計画書を提出し、その後は作業日報と写真（カメラ）を事務局へ提出。

個別組織で行っていた事務処理を事務局が一括で行うことにより、共同活動に専念することが可能に。

27

要望

- ◆ 人手不足・高齢化が顕著となる中、草刈り作業が肉体的にも精神的にも過重な労働となっている。
- ◆ 重機オペレーターがいないため、機械での作業ができない。
- ◆ 農業用施設の補修する左官業の技術が欲しい。

対策

施設の長寿命化対策は、地域住民が補修等の技術を学び自ら作業を行う事で補修等に係る**費用の縮減**と地域で**継続的なメンテナンスができる体制**を整備する。

また、**草刈隊**（黒蛭区青年部等）**としての応援体制**や建設土木作業経験者で結成し、**重機の活用、専門的技術の活用**などにより施設の補修・更新施工などを行う。



人手不足地域の草刈作業の手伝い(黒蛭区青年部)



オペレーターによる機械草刈作業
(トラクター・モア)



オペレーターによる水路入替え



左官業による水路目地補修

28

未来につなぐ くまもとの地下水

05

- ◆ 熊本県においては、水道水の約8割を地下水に依存しており、**特に熊本地域***においては、**ほぼ100%を地下水**で賄っている状況。
- ◆ **白川中流域の水田**は、他地域に比べ**約5～10倍のかん養能力**があるといわれており、熊本地域の大きなかん養域となっている。
- ◆ このような特性を活かし、白川中流域の転作田で営農の一環として行われる湛水に対して、企業や熊本市から助成金が交付され、**地下水のかん養が促進**されている。

地下水かん養断面図



※ おおきく土地改良区資料引用



白川中流域の水田で人参等の作付け
前後に行われる湛水



熊本市の江津湖は約400年前にできた湧水湖



熊本市内の水道水を供給する
健軍水源地の自噴井戸

- ◆ **世界的半導体メーカーTSMCの熊本工場**が稼働することに伴い、工場で多くの地下水が利用されることに対する**県民の不安**が広がっている状況。
- ◆ こうした中、白川中流域では、営農に支障のない範囲で**長期の水張り（冬期湛水）等の取組が拡大**。



TSMC熊本第1工場（菊陽町）



令和5年11月に開始された冬期湛水事業（大津町）

- ◆ 地元の土地改良区は、**県内高校生を対象**に農業体験等を通じ、白川中流域の水田が持つ**多面的機能（地下水かん養）への理解促進**の取組を実施。



- 名称 **白川中流域田んぼハイスクール2023**
- 取組主体 **白川中流域土地改良区協議会**
- 取組内容
 - 第1回 令和5年 6月24日（土） 田植え体験、講演会
 - 第2回 令和5年 8月27日（日） 世界かんが遺産施設見学等
 - 第3回 令和5年10月14日（土） 稲刈り体験、昔の農機具体験等
- 参加人数 第1回～第3回 総人数 166人

（「未来につなぐふるさと応援事業（**ふるさと・水と土基金**）」を活用）



第2回

歴史・
保全活動
を学ぶ



第1回

水
を学ぶ



第3回

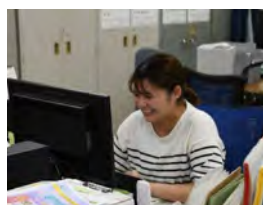
食
を体験する

Lastly

06



たすけあう
地域のちから



広域組織ひとつ



つながる未来



制作協力機関

熊本県 農林水産部 農村振興局 農村計画課
熊本県 農林水産部 農村振興局 むらづくり課
白川中流域土地改良区協議会
山鹿土地改良区
山鹿地域広域協定運営委員会

熊本県オリジナルキャラクター
「多面的機能戦隊 守るんジャー」



ご清聴ありがとうございました。